

当院で実施される下記の臨床研究はオプトアウトにより実施します。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、これらの研究にご自身の診療情報を使用してほしくない場合は各研究の担当者までお問合せください。

研究課題 (2024019)	経カテーテル的大動脈弁置換術患者の身体機能と転帰との関連性の検討
担当科及び研究責任者	リハビリテーション部 小野夏樹
利用目的	経カテーテル的大動脈弁置換術（TAVI）が普及し、状態が不良な方にも治療が拡大してきています。認知機能を含む身体機能と転帰について検討をすることは、周術期のリハビリテーション介入において有益な情報となり得ます。今回、当院で TAVI を施行された方を対象に統計解析を行なっていきます。
研究の対象者及び対象期間	対象期間：2018 年 3 月 1 日～2029 年 3 月 31 日（予定） 対象者：当院で経カテーテル的大動脈弁置換術（TAVI）を施行された方
研究の方法	当院で TAVI を施行された全患者のデータを使用します。 診療録より各因子（患者背景、身体機能、認知機能、採血結果、心機能、転帰など）のデータを収集し、後ろ向きに評価を行います。今後、学会発表や論文などで公表する予定ですが、個人を特定する情報は含まれません。
問い合わせ先	代表：048-536-9900
備考	